

3観点での評価はどうしたらいい?

# 指導と評価の一体化の工夫があります!

評価の観点は、育成すべき資質・能力の三つの柱に対応した3観点になります。  
三つの柱に対応した章構成になっているため、指導計画が立てやすく、評価がしやすくなっています。

## 1 3観点に対応した評価ができる

●「めあて」と「振り返る」

学習ごとの冒頭の「めあて」と、ページ末の「振り返る(確認)」が対応しているので、評価がしやすくなっています。



**めあて**  
●生活や社会で、材料が利用されている例を見つける。  
●加工法や道具の例を見つける。

**振り返る**  
●生活や社会で、材料が利用されている例は見つかりましたか。  
●加工法や道具の例は見つかりましたか。

**知識・技能** ~わかりましたか。

**思考・判断・表現** ~考えることができましたか。

**主体的に学習に取り組む態度** ~まとめられましたか。

評価の観点によって文章の表現を変えています

▲教科書p.12-13

## 2 評価の3観点に対応した指導計画を立てやすい

教育図書の教科書の構成に合わせた3年間の指導計画の例です。教師用指導書には「問題解決を重視した指導計画」「カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画」などの例を掲載する予定です。

### 評価の3観点と各学年の目標

学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1年	2年次以降に生きる基礎・基本を大切に	問題発見から学習課題が意識できるようになる	身近な生活の中の問題で学習に取り組む
2年	内容CとDに共通する概念を大切に	設定した課題の設計や計画が主体的にできるように	身近な生活から地域社会など外へ目を向け学習に取り組む
3年	内容Dに対する技術の概念を大切に、進展する情報技術に対応できるように	解決結果を評価し、改善することができるようになる	身近な生活から社会や産業へ目を向け学習に取り組む

週数	1学期 / 12時間	2学期 / 14時間	3学期 / 9時間
1	B編 / 13時間		A編 / 21時間
2	1章 / 4時間 題材:ペビーリーフ	2章 / 7時間 題材:ミニトマト (授業以外も作業)	1章 / 5時間 題材:不思議な本立て
3		3章 / 2時間 まとめ	2章 / 14時間 設計・製作 題材:調味料ホルダー
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			

3年生では家庭分野と合わせて35時間のため、2日盛りで1時間を表しています。

特色2

新しい内容をわかりやすく



▲教科書p.76-77